

第6期計画策定の趣旨

- ◆ 後期高齢者、要介護認定者、認知症高齢者、単身高齢者の増加が急速に進む「都市型の高齢化」への対応が必要。
 <65歳以上の人口の増加（大阪府）>
 196万人（2010年）⇒246万人（2025年）（26%増）
 <75歳以上の後期高齢者の増加（大阪府）>
 83万人（2010年）⇒153万人（2025年）（84%増）
 <認知症高齢者の増加（大阪府）>
 29万人（2010年）⇒37万人（2025年）<28%増>
 <75歳以上の単身高齢者世帯の増加（大阪府）>
 21万世帯（2010年）⇒40万世帯（2025年）<91%増>
- ◆ 団塊世代の全てが75歳以上になる2025年を見据え、高齢者の暮らしを地域全体で支える体制の整備が必要。
- ◆ このような情勢を踏まえ、第5期計画の理念を引き継ぎ、地域包括ケアシステムの実現に向けて、医療・介護の連携や認知症施策の推進など、今後3年間に実施する取組みを定める。
- ◆ 計画期間：平成27～29年度

基本理念・基本視点

- 「みんなで支え 地域で支える高齢社会」
- (1) 人権の尊重
 - (2) 利用者本位の施策推進
 - (3) 地域包括ケアシステムの構築と人材の確保
 - (4) 認知症施策の推進
 - (5) 市町村による主体的な施策展開と府との連携強化
 - (6) 介護保険制度を維持し、強化する取組み

第6期計画の構成

- 第1章 計画策定の意義 P1**
- 1 計画策定の趣旨
 - 2 計画の基本理念
 - 3 計画の基本視点
 - 4 計画の策定体制
 - 5 関係計画等との関係
 - 6 計画の位置付け・期間
 - 7 計画の進行管理
 - 8 高齢者保健福祉圏の設定
- 第2章 高齢者の現状と将来推計 P6**
- 1 高齢者の現状と将来推計
- 第3章 施策の推進方策**
- 第4章 介護サービス量の見込み、施設等の整備目標、介護保険料水準**
- 1 要支援・要介護認定者の将来推計
 - 2 介護サービス量の見込み
 - 3 施設・居住系サービス等の整備目標
 - 4 介護保険料の水準と将来推計（今回は配付していません）

- 第5章 大阪府高齢者計画2012の検証 P38**
- 1 大阪府全体の状況
 - 2 圏域別の状況
 - 3 施設サービス（介護保険施設以外の状況）
 - 4 高齢者の生活実態と介護サービス等に関する意識調査報告書の概要

第6期計画の重点取組み

基本理念 「みんなで支え 地域で支える高齢社会」

- 1 医療と介護の連携による在宅生活の支援**
 ・多職種によるネットワークの構築、認知症の早期発見 など
- 2 地域における互助の促進と健康づくり・生きがいくくり**
 ・地域住民による生活支援サービスの提供、住民運営の通いの場の充実 など
- 3 高齢者を支えるサービス基盤の充実**
 ・サービスを提供する人材の確保、介護保険制度の適切な運営 など

施策の推進方策（第3章）

1 地域包括ケアシステム構築のための支援 P11

- (1) 地域包括支援センターの機能強化と地域ケア会議の充実
- (2) 医療・介護連携の推進
- (3) 地域の支え合い体制の整備
- (4) 地域における自立した日常生活の支援
- (5) 権利擁護の推進

2 認知症高齢者等支援策の充実 P16

- (1) 医療との連携、認知症への早期対応の推進
- (2) 認知症に対する理解の促進と支援体制の構築
- (3) 認知症医療・介護の人材育成

3 安全、安心、快適に暮らせる住まいとまちづくり P19

- (1) 住まいとまちづくりに関する施策の推進
- (2) 災害時における高齢者支援体制の確立

4 健康づくり・生きがいくくり P21

- (1) 新しい介護予防事業の実施
- (2) 健康づくり
- (3) 社会参加の促進
- (4) 雇用・就業対策の推進

5 利用者支援の推進 P25

- (1) 制度周知等の推進
- (2) 相談・苦情解決体制の充実
- (3) 個々の高齢者等の状況に配慮したサービスの提供
- (4) 不服申立ての審査

6 介護保険事業の適切な運営 P29

- (1) 適切な要介護認定
- (2) 介護サービス等の質の向上
- (3) サービス事業者への指導・助言
- (4) 介護保険制度の適切な運営
- (5) 介護保険の持続可能性を高める取組み

7 福祉・介護サービス基盤の充実 P34

- (1) 居宅サービスの基盤の充実
- (2) 地域密着型サービスの普及促進
- (3) 施設基盤の充実
- (4) 在宅医療、看護、介護サービスの人材の育成、確保